

## はしがき

今日の複雑化するグローバル社会において、国際共通語としての英語の重要性はこれまで以上に高まっています。「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」のバランスのとれた英語コミュニケーション能力の育成は、ふるさと秋田や日本の魅力を広く世界に発信するだけでなく、多様な背景をもった人々と協働し、新たな価値を創造したり、世界の諸課題を解決したりする力の育成につながっていくと考えます。

本県では、平成30年度から令和4年度にかけて「AKITA英語コミュニケーション能力強化事業」において、「授業改善」、「教員研修」、「異文化体験」、「グローバルリーダー育成」の四つを柱として、国際感覚や世界的視野を身に付け、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目指した英語教育を推進してまいりました。様々な事業において関係各所よりご協力をいただいております。その結果、児童生徒の言語活動量の増加、生徒の英語力向上、先生方の授業力向上など大きな成果を得ております。

平成28年12月の中央教育審議会答申を踏まえ学習指導要領が改訂され、小学校では令和2年度、中学校では令和3年度から全面実施となり、高等学校でも令和4年度から年次進行でスタートしました。外国語教育においては、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの資質・能力の育成を目指し、各学校段階の学びを接続させるとともに、「外国語を使って何ができるようになるか」を明確にした授業改善と学習活動の充実等が求められています。県内の先生方におかれましては、新たな時代に求められる英語教育推進のため、日々授業改善に取り組んでいただいていることに心より敬意を表します。

本指導事例集作成に当たり、県内小・中・高の外国語（英語）担当教員及びALT各5名の合計20名の先生方から、優れた指導事例を紹介していただきました。これらの実践は秋田県英語教育の貴重な財産です。この財産が校種の枠を越えて広く共有され、秋田の英語教育の更なる発展に結び付くことを期待しております。積極的に本事例集をご活用いただければ幸いです。

最後になりますが、事例提供に快く御協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

令和5年3月

秋田県教育委員会  
教育長 安田 浩幸